

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん おおさかこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益社団法人 大阪交響楽団		https://sym.jp/
代表者職・氏名	理事長 芳井 敬一		
制作団体所在地	〒 590-0074	最寄り駅(バス停)	堺東駅
	大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階		
電話番号	072-226-5533		
ふりがな 公演団体名	おおさかこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	大阪交響楽団		https://sym.jp/
代表者職・氏名	事務局長 赤穂 正秀		
公演団体所在地	〒 590-0074	最寄り駅(バス停)	堺東駅
	大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階		
制作団体 設立年月	1980年9月(公益社団法人化2018年11月)		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 芳井 敬一 副理事長 海堀 芳樹 常務理事 赤穂 正秀／他21名 監事 岸田 泰治(公認会計士)	事務局長 赤穂 正秀 事務局員 19名 楽団員 53名(オーディションによる) 法人会員 273社955口／個人会員 144名 2022年7月1日現在	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	常務理事・事務局長 赤穂正秀
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	敷島 八枝子

制作団体沿革	1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。 楽団名を「大阪シンフォニカー」から2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となり、2018年11月に公益社団法人となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO(当時) 樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。 楽団公式ホームページ(https://sym.jp)		
学校等における公演実績	平成29年度 19公演(高校9公演 小学校10公演) 文化芸術による子供の育成事業 15公演 平成30年度 17公演(高校7公演 小学校10公演) 文化芸術による子供の育成事業 12公演 令和元年度 14公演(高校4公演 小学校10公演) 文化芸術による子供育成総合事業 9公演 令和2年度 1公演(高校1公演) 子供育成総合事業 4公演、文化芸術体験機会の創出事業 6公演 令和3年度 2公演(高校2公演) 子供育成総合事業 8公演、文化芸術鑑賞・体験支援事業 10公演 令和4年度 子供育成総合事業 6公演、子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業 5公演		
特別支援学校等における公演実績	平成25年度 1公演(次代を担う子どもの文化芸術体験事業) 平成27年度 2公演(文化芸術による子供の育成事業)		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大阪交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	大阪交響楽団 演奏会				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【オープニング】 ジョン・ウィリアムズ 映画「スターウォーズ」から “メインテーマ” 【オーケストラ解剖】 なかむら たかし 大阪交響楽団オリジナル楽器紹介“オーケストラの仲間たち” ～～休憩 10分～～□ 【クララのクリスマス】 チャイコフスキー バレエ音楽「くるみ割り人形」より(ナレーションつき) 序曲／行進曲／くるみ割り人形と二十日ネズミの戦闘／冬の松林(クリスマスツリーの中で) トレパーク(ロシアの踊り)／花のワルツ／金平糖の踊り／終幕のワルツとアボテオーズ 【オーケストラと共演しよう！】(下記の中から共演曲1曲を選択) ① 杉本竜一 ビリーブ (小学校向け) 合唱／ソプラノ・リコーダー ② 金管バンド／吹奏楽共演 スーザ 行進曲「星条旗よ永遠なれ」／スーザ 行進曲「ワシントンポスト」 ③ 合唱共演 佐藤真 オラトリオ「土の歌」より “大地讃頌”／八木澤敬司 あすという日が／菅野よう子 花は咲く アンコール① J・シュトラウスⅡ□ラデツキー行進曲 アンコール② 【校歌と一緒に歌おう！】【校歌でも吹奏楽・器楽合奏・リコーダー合奏などと共演できます】				
公演時間 90 分					
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	大阪交響楽団オリジナル楽器紹介・・・フルートから始まり木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器と、オーケストラで使用している楽器を、クラシックの名曲にのせて紹介していく、大阪交響楽団オリジナルの楽器紹介曲です。 クララのクリスマス(チャイコフスキー バレエ音楽「くるみ割り人形」より)・・・ クリスマス・イブの夜、クララの家ではパーティーが開かれ、大勢の招待客で賑わっています。人形使いが、クララに醜い“くるみ割り人形”をプレゼントします。他の子供たちはこの人形を笑いますが、クララはこの人形を気に入ります。やがてパーティは終わりその夜、クララが目覚めると、クリスマス・ツリーがどんどん大きくなり(クララが小さくなった)、クララは“くるみ割り人形”とネズミの大群の戦いに遭遇し、スリッパを投げて人形を助けます。人形が勝利して戦いが終わると、“くるみ割り人形”は王子様に変身し、クララをおとぎの国(お菓子の国)に連れていきます。おとぎの国では、クララを歓迎して、いろんな踊りが披露されます。アラビアはコーヒーの踊り、スペインはチョコレートの踊り、中国はお茶の踊り、そしてロシアの踊り。最後に金平糖の精と王子が踊ります。ふと気がつくと、クララは自分の部屋で目を覚まし、すべてが夢だったことに気がつきます。 今回のプログラムは、大変有名なチャイコフスキーのバレエ「くるみ割り人形」から、選りすぐりの曲とナレーションで物語を進行し、児童・生徒が、より音楽に興味を持つようオリジナルの企画としました。				
演目選択理由	大阪交響楽団オリジナル楽器紹介・・・キーワードは“4”。オーケストラはすべて“4”で成り立っています。木管・金管・弦楽器・打楽器の4セクション、フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの木管の4つの楽器、ソプラノ・アルト・テノール・バスの4声部、ヴァイオリンなどの弦楽器は4本の弦がはってあります。それらの説明をナレーションにのせ、それぞれ楽器の特徴がよくわかる曲を演奏していきます。(大阪交響楽団オリジナル曲です) 吹奏楽・金管バンド・リコーダー・合唱などとの共演・・・児童・生徒との共演を通して、より身近な演奏と鑑賞の体験をすることを目指します。吹奏楽の編成は学校によってさまざまですが、当団オリジナルで共演用にオーケストラ部分をアレンジしました。本来オーケストラにはない、サクソフォーンやユーホニアムなどの吹奏楽楽器にも共演の機会を持ってもらい、吹奏楽部生徒全員で共演できる楽しさを共有します。吹奏楽以外にも、器楽合奏(アコーディオンなど)や鼓笛隊、金管バンド、リコーダー、合唱など、共演形態はさまざまです。希望の共演形態と曲目は①～③の中から選択できます。				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	※ ラデツキー行進曲では指揮にあわせて全員で手拍子を。手拍子を大きくしたり小さくしたり、音楽に合わせ変化します。 ※ 吹奏楽部との共演が可能。共演できる楽器は吹奏楽部の楽器全員です。曲は1曲選択 ※ 小学校では、校歌で金管バンドや器楽部、ソプラノリコーダーや吹奏楽など学校の形態に応じた形で共演が可能です。 ※ アンコールに校歌を全生徒一緒に歌います。合同開催校がある場合、複数の校歌のモデルも可能です。 ※ 地域のオリジナル共通教材(市歌・町歌)などがあれば、複数開催校で一緒に歌うこともできます。				
出演者	管弦楽 大阪交響楽団 基本編成 3管10型 演奏者63名(No.2 別紙メンバー表)＋指揮者・司会者 指揮 柴田 真郁／平川 範幸／松村 秀明 他				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 65 名		運搬		積載量: 4 t
	スタッフ: 10 名				車 長: 8 m
	合 計: 75 名				台 数: 2 台

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校児童・生徒(10～700人程度)
ワークショップ 実施形態及び内容	オーケストラの楽器の中から代表して、木管・金管・弦楽器の各セクションから各1名、計3名＋ピアノ1名＋スタッフ1～2名がまいります。 ① 全校児童・生徒対象に、2時限(45分×2時限＝約100分)の枠内で、ミニコンサートと、木管・金管・弦・打楽器の楽器についてのお話をします。(実質内容60分～70分)(各楽器の発達してきた歴史や、楽器のしくみや、音の出し方などを説明し、実際に音を出す体験をします。)また、本公演のオーケストラへの興味を促し、鑑賞へと繋がるように、オーケストラの編成などのお話もします。生徒には、オーケストラの資料を事前に配布し、ワークショップ当日は、資料とともに、理解を深めます。 ② 共演コーナーで共演する曲目(リコーダーや、金管バンド・合唱・吹奏楽等)の事前共演指導(レッスン)を行います。(実質内容 編成により20分～100分)		
ワークショップの ねらい	本公演の事前学習として、楽器の名前や形・色・音色などにふれること、またオーケストラのお話を聞くことにより、さらに興味を喚起します。 プロ奏者による共演の事前指導で、児童・生徒に多くの刺激と感動を与えます。		
その他ワークショップに 関する特記事項等			

項目内容

大阪交響楽団

(楽団/事務局 組織図)
2022年7月1日現在

◆大阪交響楽団

◎首席 ○副首席

常任指揮者	山下 一史
ミュージックパートナー	柴田 真郁
首席客演指揮者	高橋 直史
名誉指揮者	外山 雄三
首席ソロコンサートマスター	森下 幸路
コンサートマスター	林 七奈
アソシエイトコンサートマスター	岡本伸一郎
アシスタントコンサートマスター	里屋 幸
1st Violin	牛尾 佳子 水村 良子 木下 晶人 村上 慈 永嶺 貴洋 吉岡 克典 松田 尚子
2nd Violin	◎米川さやか 蔭山真理子 ○西馬美奈子 清水 恵美 安達 琴子 西村 彩 伊藤 瑠紀 宮崎 真弓
Viola	◎早田 類 南條 聖子 坂口 雅秀 根来 隆臣
Cello	◎大谷 雄一 金井 悠 ○増山 頌子 孫 宝徽 荒木 雅美
Contrabass	◎大槻健太郎 岩下 明美 ○渡戸由布子 熊谷 勇人
Flute	奥本華菜子
Oboe	◎津末佐紀子 ○小谷麻理子
Clarinet	◎村瀬 司 ○原田美英子
Fagott	◎藤崎 俊久 ○西浦 豊
Horn	◎細田 昌宏 ○青木 宏朗 ○小曲 善子 中西 順
Trumpet	○松田 貴之
Trombone	◎阿部竜之介 ○矢巻 正輝
Bass Trombone	○中井 信輔
Tuba	潮見 裕章
Timpani	◎小谷 康夫
Percussion	◎花石 真人

◆大阪交響楽団

副楽団長	村瀬 司
永久名誉楽団代表	敷島 博子
永久名誉団員	野口 伸広 末原 諭宣
名誉顧問	井植 敏 (三洋電機株式会社 元会長) 樋口 武男 (大和ハウス工業株式会社 最高顧問)
特別顧問	左藤 章 (元衆議院議員)
顧問	永藤 英機 (堺市長) 岸田 敏明 (関西総合会計事務所 会長)

◆事務局

事務局長	赤穂 正秀
営業部 部長(法人)	山科 孝義
営業担当	久木原裕嶺
法人担当	森田 憲子
事業部 チーフマネージャー(事業)	徳田 知希
事業・制作担当	恒川 芳美
事業・制作担当	岡 貴良
チーフマネージャー(広報)	松本 由紀
広報担当	岡本 祐輝
チケットセンター	山田 翔太 国枝 亜衣 司城菜衣子
総務部 チーフマネージャー(総務)	敷島八枝子
経理・総務担当	中務 奈緒
公演部 部長/ステージマネージャー	各務 陽介
パーソネルマネージャー	深澤 弘安
チーフマネージャー/ライブラリアン	弓場 和子
ライブラリアン	小林 加奈
アシスタントライブラリアン	石見奈都江
ステージマネージャー	伊介 芽生

◆公益社団法人大阪交響楽団定款に定める法人の目的

交響楽その他の音楽の普及発達を図り、わが国における音楽芸術の向上発展に寄与することを目的とする。

発行日：2022年7月1日
発行人：赤穂 正秀
発行所：公益社団法人 大阪交響楽団
デザイン：株式会社ITPコミュニケーションズ
印刷：新和印刷株式会社
許可なき複製、転載は固くお断りいたします。All rights reserved. (非売品)